

「びわ湖環境ビジネスメッセ 2016」の開催について

1. 開催日時 平成 28 年(2016 年) 10 月 19 日(水)～10 月 21 日(金)の 3 日間
10 時～17 時(最終日は 16 時まで)
2. 開催場所 長浜バイオ大学ドーム(滋賀県立長浜ドーム)
3. 主 催 びわ湖環境ビジネスメッセ実行委員会(次の 21 団体で構成)
(一社)滋賀経済産業協会、滋賀経済団体連合会、滋賀県商工会議所連合会、
滋賀県商工会連合会、滋賀県中小企業団体中央会、滋賀経済同友会、
(公社)びわこビジターズビューロー、(公財)滋賀県産業支援プラザ、
(一社)滋賀県銀行協会、長浜商工会議所、彦根商工会議所、米原市商工会、
滋賀大学、滋賀県立大学、立命館大学、龍谷大学、長浜バイオ大学、
長浜市、彦根市、米原市、滋賀県
4. 後 援 経済産業省、環境省、近畿経済産業局、関西広域連合等 28 団体
5. 来場見込 35,000 人
6. 行事・イベント
 - (1) 開会式
(日 時) 10 月 19 日(水) 9:15～9:55
(場 所) 長浜バイオ大学ドーム メッセ会場内特設会場
(出席者) 滋賀県知事、びわ湖環境ビジネスメッセ実行委員会会長、滋賀県議会議長、
湖南省訪日団 等
 - (2) 主催者企画
「日本で躍動する最先端エネルギー技術が登場」と題し、水素エネルギー、IoT、無線
給電等に関する主催者コーナーを設置。
 - (3) セミナーの開催
次世代環境技術の動向や海外ビジネスの展開などをテーマに、セミナーを全 16 本開催
 - (4) 出展者プレゼンテーションの実施
新製品や新技術のアピールの場として、出展者プレゼンテーションを全 21 本開催
 - (5) 地元協賛事業
会場周辺の工場見学(全 6 コース)、会場内での地元物産品の販売、および長浜バイオ
大学研究室のオープンラボを実施。

～びわ湖環境ビジネスメッセ 2016 の特色～

◆ 特別企画の設置

「日本で躍動する最先端エネルギー技術が登場」と題し、現在日進月歩で開発が進められている水素エネルギー、IoT、無線給電等の技術に関する特別企画・主催者コーナーを設置。水素燃料自動車MIRAI、水素ディスペンサー、超小型電気自動車コムス等を実物展示する。また、屋外では超小型電気自動車コムスの試乗会を実施。

◆ セミナーの開催

「自動運転・水素エネルギー・ワイヤレス給電がもたらす新市場・ビジネス」や「アジアにおける水環境ビジネスの展望」等の3本の主催者セミナーと13本の共催セミナーを実施。

◆ 約300の企業・団体が出展

今年度の出展者数は、292企業・団体

◆ 出展者のプロフィール

ゾーン別では、「新エネ・省エネ」ゾーンの46者が最多。昨年度と比較すると「水環境ビジネス」ゾーンや環境土木・環境建築ゾーンでの出展者が増加。

業種別では、「製造業」が96者と33%を占め、以下「官公庁」「商社・卸売業」「建設業」の順。

出展者の本社所在地別では、「滋賀県」が122者と最も多く、次いで大阪44者、東京都31者、京都府24者、愛知県12者の順。

全体のうち、約3割を占める87企業・団体が新規出展。

◆ 特設ゾーン

今年の特設ゾーンには、米原市商工会、東浅井商工会、びわ商工会および長浜北商工会が共同で初出展。ゾーン名は「湖北地域ものづくり応援プロジェクト」。

◆ 長浜バイオ大学協賛事業

今年度初めての試みとして、長浜バイオ大学において3つの研究室のオープンラボを実施。